

個人質問

議会事務局 処理欄	平成22年11月1日11時20分 受付
	質問順位 第11番

武豊町議会議長 小山茂三 殿
 武豊町議会議員 梶田 稔
一般質問の通告について
 平成22年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答弁者
1. 住宅リフォーム促進事業助成金制度の創設を求める	<p>長引く不況の中で、地元中小零細建築業者の経営は、大手住宅メーカーの参入と相まって、かつてない厳しい経営を強いられている。</p> <p>地域興し・地元産業育成の一環として、多くの自治体で「住宅リフォーム促進事業助成金制度」が設けられ、住民からも業者からも大変喜ばれている。</p> <p>昭和56年以前の木造住宅は、どれだけ存在しているか。耐震改修も進められているので、改めて確認しておきたい。</p> <p>少子高齢化の進展と家族構成の変化に伴って、住宅リフォームの需要は高まっていると思われる。不況の影響は家計にまで及び、リフォームしたくても資金難で躊躇している家庭も多い。助成制度が創設されれば、一気に需要が掘り起こされ、地域産業の活性化につながるものと確信する。</p> <p>ぜひ、「住宅リフォーム促進事業助成金制度」を創設して住民と業者の期待に応えていただきたいが、見解を伺いたい。</p>	町長 部課長
2. 国保税値上げ計画を撤回し、1世帯当たり1万円引き下げを求める。	<p>11月2日に開催された行政報告会において、国保税の値上げ計画が報告された。報告によれば、1世帯当たり1万638円の値上げで、増税総額は6063万円余となっている。</p> <p>被保険者には、6063万円余の増税を求めながら、一般会計からの「その他繰入」は、本年度の2億2500万円余から1億1800万円余に半減させる計画となっている。</p> <p>長引く不況の中で、営業と家計は深刻な事態となっているというのに、それに追い打ちをかけるような今回の国保税の値上げ計画は、到底、住民の理解と納得は得られるはずはない。</p> <p>過日、町長宛に提出した要望書で、</p> <p>一般会計からの「その他繰入」を積極的に行って国保税引き上げを回避すること。</p> <p>平成21年度決算において、7億6300万円余の実質収支額(黒字)を計上していますが、これらの財源を住民福祉の増進に役立てること。</p> <p>下水道事業に、平成15年度以降、毎年7億円を超す一般会計からの繰入をし、平成21年度には実に10億円を超える繰入をしたことに鑑み、平成22年度国保会計への繰入額2億2500万円余を維持し、平成23年度以降も国保税引き上げを回避すること。</p> <p>実質的な収入のない赤ちゃんから18歳未満の少年まで課税している、国保税の「均等割」部分を減免し、国保税を被保険者1世帯当たり1万円の引き下げを実施すること。</p> <p>75歳以上の高齢者医療費を無料化すること。</p> <p>改めて、これら要望事項の実施を求め、見解を伺いたい。</p>	町長 部課長